



中萩 社協だより

発行日 令和7年3月25日
号数 第150号
発行所 新居浜市社会福祉協議会 中萩支部
事務局 新居浜市萩生740
中萩公民館内

祝 社協だより第150号記念 お祝いメッセージをいただきました

中萩社協だより第150号の発行を迎えられましたこと、心からお慶び申し上げます。

社会福祉協議会中萩支部は、地域ニーズに適応した、きめ細かな福祉サービスを提供する小地域社会福祉協議会として、市内で最も早い昭和39年4月に設置され、各種団体の強力な連携のもと地域福祉活動にご尽力いただき、深く感謝を申し上げます。

今後におきましても、地域福祉の推進役として、活動が充実強化されますことをお祈り申し上げます。

新居浜市社会福祉協議会
会長 小野 正師



「中萩社協だより」150号発刊誠におめでとうございます。心よりお慶び申し上げます。平成2年6月の第1号発刊から35年間、発刊に携わりました歴代支部長、編集委員、広報部員等の皆様に心より感謝と敬意を表します。

地域福祉とは、地域の子ども、お年寄り、障がい者等の社会的に弱い方々を地域社会で支え合うことです。社会的に弱い方々を組織で支え合うことは、もちろんのことですが、個人ひとり一人が、「おもいやり」で支え合うことも大変重要です。その「おもいやり」を醸成するために地域でのイベント、行事、福祉事業等を広報お知らせすることが肝要です。こうした意味において「中萩社協だより」が大変重要な役割を果たしております。発刊には原稿依頼、校正等ご苦勞も多いですが、今後ともよろしくお願いいたします。

最後になりましたが、公民館活動にご支援とご協力を賜りますと共に、新居浜市社会福祉協議会中萩支部の今後ますますのご発展と皆様方のご健勝をお祈り申し上げます。

中萩公民館 館長 亀井 喜一郎



中萩支部「社協だより」創刊150号を迎えることができました。これもひとえに諸先輩方のご尽力と、ご支援、地域の皆様方のご協力の賜と心より御礼申し上げます。

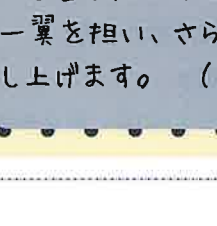
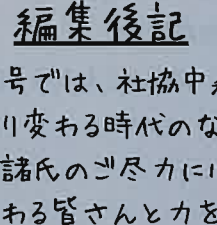
平成2年6月第1号発刊以後、時は過ぎ社協メンバーも変わっていききましたが、これを機に広報部員一同、更なる地域福祉向上を目指して、「地域に住みたい、楽しい地域」を目標に、皆様に役立つ細やかな情報を「社協だより」に紹介してまいります。

これからも広報部員一同頑張っております。

新居浜市社会福祉協議会 中萩支部 支部長 江本 裕由子



令和6年度開催した事業紹介



おたより訪問



昔あそび大会



なかまちサロン



なかまちサロン



子育てサロン



金婚式のお祝い



見守り活動

編集後記

今号では、社協中萩支部の60年におたる地域福祉のあゆみを振り返りました。移り変わる時代のなかで変化しながら歴史を刻んできた中萩支部。この間の先輩諸氏のご尽力に心より感謝し、これからは支部長を中心に地域の方々や福祉に携わる皆さんと力を合わせて歩みを進めたいと思います。「中萩社協だより」もその一翼を担い、さらに充実した紙面づくりを目指します。今後ともよろしくお願いいたします。（広報部長 曾我部多見子）



平成	消費税5%（平成9年）	独居高齢者見守り推進事業	独居高齢者見守り推進活動開始
10	長野冬季オリンピック開催 「特定非営利活動促進法」公布	総合福祉センター受託運営 放課後児童健全育成事業	金婚式表彰世帯への記念品贈呈 社協シンボルマーク新設 独居高齢者に対し「住まいの1日簡易修理奉仕」事業
12	「児童虐待防止法」公布 介護保険制度開始	ふれあいのまちづくり事業開始 介護保険事業開始	第3代支部長 真鍋哲夫氏 生き生きふれあいサロン（平成13年～）
14		基幹型在宅介護支援センター運営	第4代支部長 前谷秀雄氏
15		新居浜市・別子山村（社協）合併 創立50周年記念誌発行 地域福祉活動計画実施	昭和から平成、食改の方々の協力で実施された独居高齢者配食事業 
16	新潟中越地震	新居浜市豪雨災害「新居浜市社協災害ボランティアセンター」運営	校区内被災者に見舞金
17	「障害者自立支援法」「高齢者虐待防止法」公布	「災害支援協定」締結（県内20市町村） 	第5代支部長 宮崎 弘氏 子育てサロン「萩っ子」開始
19	郵政民営化		第6代支部長 加地敏重氏
20	「後期高齢者医療制度」開始		文化祭「健康・介護相談コーナー」運営
21			第7代支部長 豊田昭男氏
23	東日本大震災 「障害者虐待防止法」公布	第二次地域福祉活動計画実施	東日本大震災へ義援金 
24	東京スカイツリー開業	介護事業所完成	独居高齢者宅に火災警報器設置
25	「障害者差別解消法」「生活困窮者自立支援法」公布	法人後見事業 生活福祉金貸付事業 	「笑いの介護教室」開催（7回） 「中萩社協だより」100号 フルカラー化 新居浜笑いサミット（健康寄席出場） 学校教材寄贈（中萩小・中 新居浜特別支援学校・上部児童センター・くすのき園） 独居高齢者に防災グッズ配布
26	消費税8%	えひめ権利擁護セミナーinにいほま開催 権利擁護課を設置	中萩支部設立50周年 記念碑建立 記念総会開催 高齢者サロン「さくら会」発足 上部ブロック研修会で広報部活動について発表 
27		第三次地域福祉活動計画実施	
28	熊本地震 マイナンバー制度開始	くらしの総合相談・支援窓口	
29			西日本豪雨へ義援金 「独居高齢者と集う会」開催
30	西日本豪雨		第8代支部長 加藤博正氏 「ふれあい訪問」に代え「おたより訪問」開始
令和 1	消費税10%		
2	新型コロナウイルス感染症の世界的大流行		
3	東京オリンピック開催	第四次地域福祉活動計画実施	
5	「LGBT理解増進法」公布		第9代支部長 江本裕由子氏
6	保険証をマイナ保険証に一本化		中萩支部設立60周年 「中萩社協だより」150号 記念号発行
7			

社協中萩支部 60年のあゆみ

年 度	世の中り動き・国の施策など	市 社 協	中 萩 支 部
昭和 26	中央社会福祉協議会（現全国社会福祉協議会）発足		☆事務局は中萩公民館に置く。発足時の会員数47名 年間予算5万円。 当時の公民館長 渡辺茂氏が世話役となって、長期にわたり協議会の運営にあたった。
27	「日本赤十字法」公布	新居浜市社会福祉協議会発足	
34	歳末助け合い募金開始		
36	国民皆年金・皆保険体制確立		
37		まごころ銀行事業開始	
39	東海道新幹線開業 東京オリンピック開催		新居浜市で最初の支部として発足 初代支部長 福田清美氏 規約制定 
40	名神高速道路全線開通	老人家庭奉仕事業開始	
42		身体障害者家庭奉仕事業開始	
44		法人認可	
45	大阪万国博覧会開催	第1回新居浜市社会福祉大会開催	
46		独居老人家庭訪問事業開始 	
47	日中国交回復 沖縄本土復帰 札幌冬季オリンピック開催 社協シンボルマーク制定		
48	福祉元年 第1次オイルショック	日本赤十字業務開始	
50		「礼状による香典返し」事業開始	
53		老人配食サービス開始	まごころ銀行預託制度開始
54	国際児童年 第2次オイルショック		「優良社会福祉協議会」として全国社会福祉大会で会長表彰を受ける これを機に組織が整う
55		特別会員制度開始 「社協だより」第1号発行	特別会員制度開始 
56	国際障害者年		
60	「男女雇用機会均等法」公布		
63		社協支部連絡協議会発足	
平成 1	消費税3%導入 花博		第2代支部長 内藤雅行氏
2			「中萩社協だより」第1号発行
3	バブル経済崩壊 「育児休業法」公布		中萩小学校6年生年賀状事業開始 お年寄りとのふれあい訪問開始
4		第1回「福祉ふれあいフェスティバル」 	中萩中学校3年生年賀状事業開始
5	「障害者基本法」公布		
7	阪神・淡路大震災 ボランティア元年 「育児・介護休業法」公布		阪神・淡路大震災被災地へ救援物資を送る
8		ボランティアセンター運営開始	地域ケアネットワーク相談協力員活動開始